

意見書

教 科
社会

種 目
社会

発 行 者
東京書籍

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の見方、考え方を「広がり」に注目・「時間」に注目・「関係するところ」・「くらべる、分ける、まとめる、つなげる」という4つの観点で明記し、全ての単元の多くのページに記載されており、一目でわかる工夫が十分にされている。 ・状況を想像しやすい表現や、やさしい言葉を用いたり、知識、技能の習得を図るコーナーが充実していたりして、可茂地区の課題である基礎的・基本的な知識の育成ができるような構成が十分にされている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、前学年の学びを振り返る掲載があり、これまでの学びが該当学年の学びと、どのようにつながるか流れが分かりやすい。 ・他教科との関連が、それぞれのページごとに示してあるため、どの教員が指導しても、関連性をイメージして指導しやすい。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の終末では、「まとめる」「ひろげる」の項目で統一されており、自分の生活と比べるようなまとめ方や、単元での学びをより広げるための内容がかなり考えられており、主体的で多様な学びのまとめを行うことができる。 ・単元の導入時の資料提示がかなり考えられて示されていることで、多様な視点や、自分の経験や知識から主体的で対話的な学びを進めていくことができる。
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の「低い土地の暮らし」において、海津市を取り上げ、それに合うように、6年生で、薩摩藩の木曾三川の治水を取り上げており、郷土に非常に親しみをもって、地形の特色を学習することができる。 ・5年生で情報を生かす観光業の例として下呂市が取り上げられており、郷土の産業の様子を詳しく学ぶことができる。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードが掲載してあり、資料の取り込みを行うことで、デジタル資料やワークシートを活用した学習を行うことができる。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを中心に取り上げ、課題の達成に向けて、世界の国々が国際的に協力することや、活躍する人々がいることを掲載している。
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生、6年生は2冊になっており、とても使いやすい。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用しており、文字が大きく大変見やすい。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の課題に合った様々な事象について、バランスよくアプローチされている。

意見書

教 科
社会

種 目
社会

発 行 者
教育出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で社会的な見方・考え方について、吹き出しを用いて具体的に確認するコーナーが設定されている。 ・単元の終末が新聞やラジオニュースの原稿、リーフレットづくりなど様々な表現の活動が豊富に示されている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で他教科との関わりを示すコーナーが設定されている。 ・6年生の教科書では自然災害(関東大震災)や点字、自然保護運動の歴史など他学年の社会科や他教科と結びつく内容を取り扱っている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の4項目が大きく記されており、主体的に課題解決に臨むことができるようになっている。 ・単元の終末に話し合う活動が多く設定されており対話的な学びが実現できるようにされている。
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生では岐阜市のコミュニティーバス、4年生では白川郷の合掌造り集落が写真で紹介されており、郷土の様子を捉えやすい。 ・5年生の「日本のさまざまな気候」では、千代田区と白川村の雨温図を比較できたり、白川郷の四季の写真を比較できたりするため、郷土の気候の特色を捉えやすい。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードでグラフ資料を表示したり、単位時間に使用するワークシートを用意したりすることができて便利である。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生の国際社会の学習では教科書で14ページ分の内容を扱っており、充実している。 ・キャラクターの中に車いすの子どもがおり様々な立場で考えやすくなっている。
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての学年が1冊にまとめられていて扱いやすい。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用しており、文字が大きく大変見やすい。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生の教科書には文字索引以外に、地図索引がついており、日本各地でどのような出来事が起きたか調べやすい。

意見書

教 科
社会

種 目
社会

発 行 者
日本文教出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に生きる人々の話が多く掲載されており、その地域に生きる人々の思いをよく考えることができる。 ・見方・考え方コーナーが「空間」「関係」「時間」の3観点に分けて、位置づけられており、どのような見方・考え方をするとよいか分かりやすい。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな力が身に付いたのかを示したページや、学びを振り返るページが巻末に位置づけられており、次学年へのつながりがとてもイメージしやすい。 ・大単元末にSDGsに関する内容が掲載されており、発展的な学習につなげやすい。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の終末ごとに話し合い活動が位置づけられており、対話的な学びが行いやすい。 ・単元の終末ごとに「未来につなげる」というページを位置づけ、SDGsと関連させながら、持続可能な社会について考えることができる。
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「低い土地の暮らし」において、海津市を取り上げており、郷土に非常に親しみをもって、地形の特色を学習することができる。 ・関ヶ原の戦いのページにおいて、関ヶ原の位置を示した地図が掲載してあり、江戸と関ヶ原の位置関係がわかりやすい。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードが非常に多く、デジタル教材を活用して学習を深められるように、十分に工夫されている。 ・資料だけではなく、学習計画やまとめ方のページにおいても、二次元コードが掲載されており、ICT機器を用いた学習を展開しやすい。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・「戦争・紛争」「環境問題」等、世界が抱える問題について取り上げられているため、国際協力について考えを深めやすい。
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・5、6年生は、各一冊にまとめられ、扱いやすい。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用しており、文字が大きく大変見やすい。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・索引では、重要語句を「キーワード」として、マークを付けることで、分かりやすくしている。